

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
【発行日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【公表番号】特表 2004-503652 (P2004-503652A)  
【公表日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-005  
【出願番号】特願 2002-510605 (P2002-510605)  
【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 95/00

F 1 6 F 15/02

【F I】

C 0 8 L 95/00

F 1 6 F 15/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成 14 年 12 月 25 日 (2002.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性アスファルトエマルジョン、アルカリ金属炭酸塩、アルカリ土類金属炭酸塩、硫酸塩又はそれらの混合物を含む 1 又はそれよりも多くの充填材、並びに非イオン性界面活性剤を含有する組成物。

【請求項 2】

クレーを使用して前記アスファルトを水中に乳化させている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記充填材が、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウムカルシウム、硫酸バリウム又はそれらの混合物である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記水性アスファルトエマルジョンの量が、35～75 重量%であり、前記充填材の量が、25～65 重量%であり、且つ前記非イオン性界面活性剤の量が、0.01～1.0 重量%である、請求項 1～3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が更に、溶媒又は可塑剤を含有する、請求項 1～4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

前記界面活性剤が、アルキルフェノキシアルカノール又はアルキルフェノキシアルコキシル化アルカノールである、請求項 1～5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

請求項 1～6 のいずれかに記載の組成物を基材に塗布して、この基材を通過する音を減衰させる基材に付着した塗膜を形成することを含む、基材の音減衰特性を改善する方法。

【請求項 8】

塗布された前記組成物を乾燥することを更に含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記組成物を基材上に渦巻き塗布する、請求項 7 又は 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の塗膜を有する基材を含む物品。